

かみえちかみやといせき		
上依知 上谷戸遺跡		
▼旧情報▼		
所在地	厚木市 上依知	
時代	縄文時代、 古代、 中・近世	

調査区は相模川の南方約 500mほどの河岸段丘崖直下の低位段丘上に位置します。

上位段丘際には国道 129 号線がほぼ南北に走っており、調査区より北に 500mほどで相模川に架かる新昭和橋に達します。昭和 47 年に行われた国道 129 号線の工事に伴い新昭和橋の手前で古墳(上依知古墳(かみえちこふん))が調査されており、本遺跡においても古墳が発見される可能性は十分考えられます。

現在の調査状況は、中・近世面の調査を行っている段階で、当該期の溝(みぞ)状遺構や集石(しゅうせき)、畝(うね)状遺構、段切りなどが確認されております。一部には古代の遺構も顔を見せて



▲ 近世 段切り



▲ 近世 4号溝状遺構

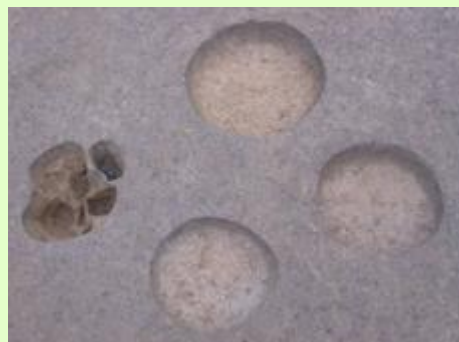
おり、竪穴住居址(たてあなじゅうきよし)1軒、円形土坑(えんけいどこう)20数基を確認し、調査を行っております。調査区に覆い被さっていた2～4mの盛土の除去はほぼ終了し、中・近世面の調査が終了し次第、下面への掘り下げを行い、古代面の調査に移行していく予定となっております。

来年度は更に下面の縄文面の調査を行いますが、現在までに、試掘の結果から落とし穴が4基見つかってます。2箇所 of 狭小な範囲を掘って落とし穴が4基見つまっていることから考えて、調査区全体からは膨大な数の落とし穴が見つかる可能性も考えられます。

今後の情報の更新にご期待下さい。



▲ 古代 竪穴住居址



▲ 古代 円形土坑